

湯日川水系河川整備計画 住民意見募集における意見と対応

「湯日川水系河川整備計画」の策定にあたり、静岡県の「情報提供の推進に関する要綱」に基づき、河川整備計画(原案)を公表し、住民意見を募集した。

(1)意見募集の期間:令和4年1月24日～令和4年2月24日

(2)意見の提出方法:持参、郵送、FAX、電子メール

(3)意見等の提出状況:意見募集により提出された件数(通数)は7件。

■提出意見と対応

分類	No.	提出方法	意見等	対応
治水	1	口頭	10年に一度の洪水を安全に流すことを目的とするならば整備対象期間は10年とすべきでは？	<p><当日回答></p> <p>年超過確率 1/10 対応の改良の工事は予算にもよるが、少しでも早く完了させたいと考えている。この整備計画は改良のことだけでなく、維持管理にも触れている。改良や維持管理を総合的に考え、20年の計画にしようとしている。また、計画期間内であっても社会的情勢の変化などがあれば必要に応じ、適宜見直しをすることとしている。</p> <p><本文での対応></p> <p>本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	2	口頭	(国)150号付近は、数年前に浚渫してもらったが、土砂が堆積しやすくすでに少したまっている。大井川で施工されている水制など実施すれば、堆積しないのでは？	<p><当日回答></p> <p>水制は、施工した側の水の勢いを抑え、対岸にミズミチが移るような効果がある。しかし、水制によるコントロールは難しく、思ったようにミズミチは変化しない。湯日川のように川幅が狭い箇所では対岸の過剰な洗掘を発生させることもあるかもしれない。現状では維持浚渫を行うことが最良かと思われる。</p> <p><本文での対応></p> <p>本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	3	口頭	洪水対策で、掘削と築堤が記載されているが、これ以外の工事は実施しないということか？草刈りなどは実施しないのか？	<p><当日回答></p> <p>改良という目的ではその通りであるが、この整備計画では適切な維持管理も記載している。治水に影響のあるような著しい植生の繁茂や土砂堆積、護岸の破損などについても必要に応じ工事を行う。</p> <p><本文での対応></p> <p>本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	4	書面	中下流域での人口集中については異論がある。前述したが、東日本大震災以来、海岸地域から北区に向かい人口移動が起きている。自彊小学校の児童数が大幅に増加していることから判断できる。これからの人口動向を考慮した河川整備計画が必要であると思うが見解をお聞きしたい。	<p><意見への回答></p> <p>関係市町の都市計画(市街化区域)を考慮し、将来の市街化(中下流部の市街化)を想定して検討している。</p> <p><本文での対応></p> <p>本文記載済み(修正・追記なし)</p>
維持管理	5	書面	<p>地域住民の最大の関心は、近年の異常気象による大雨浸水被害です。住民の大半は過去に何らかの水災害を経験しており、安全対策に敏感で関心が高い。現在堤防上に雑木は見当たりません。大きな中州もありませんが、土砂の堆積箇所があり、今後注視していく必要があります。</p> <p>本川に接続する支川や水路(出水川、神戸川)等の逆流による冠水、津波被害も心配されます。</p> <p>土砂の堆積、浚渫については、生活の安全第一で見回り強化の上、住民の要望を聴きながら実行してください。逆流による冠水は町との話し合いにより早期解決を要望します。</p> <p>車輻の通行の、利便性向上は今以上の必要なしと考えます。</p>	<p><意見への回答></p> <p>土砂堆積については、支川や水路への逆流を含め治水上支障となる土砂の緊急的な排除について、迅速かつ適切に対応する。また、平常時より河川巡視や状態監視の定点観測を行って適確に把握する。</p> <p>住民の要望については今後も要望が寄せられた都度、重要度に応じ対応していく。</p> <p>(第4 河川整備の実施に関する事項,2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所,(2) 河川の維持の種類)</p> <p>支川への津波の逆流については、発生頻度が高く、発生すれば大きな被害をもたらす「計画津波」に対しては、人命や財産を守るため、河口水門の適切な維持管理により、海岸・港湾等における防御と一体となって津波被害を防御するものとする。</p> <p>発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」に対しては、施設対応を超過する事象として、住民等の生命を守ることを最優先とし、地域特性を踏まえ、島田市及び吉田町との連携により、土地利用、避難施設、防災施設などを組み合わせた津波防災地域づくり等と一体となって減災を目指す。</p>

分類	No.	提出方法	意見等	対応
				<p>(第3 河川整備計画の目標に関する事項,4 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標)</p> <p>逆流による冠水についての町との話し合いによる早期解決については、施設能力を上回る洪水が発生した場合、また、想定を上回る津波や高潮が発生した場合においても、出来るだけ被害の軽減が図られるよう、関係機関や流域住民との連携を強化し、地域の防災力の向上に努めることとしている。</p> <p>(第4 河川整備の実施に関する事項,3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	6	書面	<p>ゴミの回収も、当初の大容量のゴミ回収したことに比べ、減少したとは言え、まだ相当量のゴミが捨てられています。歩行途中の投げ捨てもありますが、家庭から持ち込んだ生活ゴミ、金物類、スポーツ用品、CDなどの小型家電類、タイヤ、事業者による廃材などが主たる原因です。一時期<u>オムツの投棄場所に為った事もありました。</u></p> <p>投棄場所は村上橋東名高架下や、人家の少ない場所への投棄が多くみられます。生い茂った雑草が不法投棄を助長しています。また、通行の支障、防犯上の懸念があります。</p> <p>堤防法肩より1～2メートル低簿の除草を年2回程度の頻度で定期的に行ってください。現在一部分を個人で除草している人もいます。リバーフレンドシップの制度を自治会等呼びかけ組織化を図ってください。</p>	<p><意見への回答> ゴミの投棄に関しては、投棄する住民への河川愛護の意識啓発が重要であると考えます。河川愛護精神については住民に生まれ受け継がれていくよう、市町や流域住民と連携し、より良い河川空間の整備を目指すこととしている。(第3 河川整備計画の目標に関する事項,7 河川と地域との関わりに関する目標)</p> <p>除草については、堤防上が市町の道路になっている箇所もあるため、市町の道路管理とも連携しながら重要度に応じ対応していく。また、リバーフレンドシップの制度や活動については支援を推進していく。</p> <p>(第4 河川整備の実施に関する事項 2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所(2) 河川の維持の種類イ 河道内堆積土砂及び植生等の維持管理)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	7	書面	<p>土手の除草がゴミ捨て場の温床になっていたり、通学に通う土手は雑草でおおわれ、危険な箇所にもなっている。御存じだろうか。</p> <p>吉田町から見ると、坂口谷川の整備された堤防、管理された土手にはどんな施策が行われているのか、リバーフレンドシップの機能が活かされているのか、又は他の方法があるのですか。</p> <p>静岡県には、湯日川の管理計画は存在するのですか。</p>	<p><意見への回答> ゴミの投棄に関しては、投棄する住民への河川愛護の意識啓発が重要であると考えます。河川愛護精神については住民に生まれ受け継がれていくよう、市町や流域住民と連携し、より良い河川空間の整備を目指すこととしている。(第3 河川整備計画の目標に関する事項,7 河川と地域との関わりに関する目標)</p> <p>湯日川の除草をはじめとする管理計画は整備計画に記載している。除草については堤防上が市町の道路になっている箇所もあるため、市町の道路管理とも連携しながら重要度に応じ対応していく。また、坂口谷川の堤防はリバーフレンドによる除草により、きれいな堤防となっている。湯日川においてもリバーフレンドシップの制度や活動について支援を推進していく(第4 河川整備の実施に関する事項,2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所,(2) 河川の維持の種類,イ 河道内堆積土砂及び植生等の維持管理)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
利水	8	メール	<p>“慣行水利権”に関する記述は、総務省の「水資源に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」(平成13年7月)等を踏まえた内容とし、またその姿勢を見せてください。</p>	<p><意見への回答> 慣行水利については取水を行っているものに対し、取水内容の変更を伴う工作物の新築等を行おうとするときに許可水利とするよう求めている。</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
自然環境	9	書面	<p>自然環境も後退しています。1982年に長野より移住した住民は当時螢を散見したと言います。1996年頃、アユの大量遡上、ウナギ、小魚をよく見かけたと多数の人が言います。カワセミや見かけない鳥を見ることも珍しい事ではなく、今は野鳥も減少しています。</p> <p>千草橋～山崎橋～竹橋を、自然観察ウォーキング区間として住民の協力、知恵、労力を得ながら環境整備を行う。千草橋～竹橋に掛けて秋の七草を橋間に数株ずつ植栽して下さい。七草のうち「フジバカマ」はアサマダラ渡り蝶の飛来が期待できます。藤枝市、島田市、牧之原市など近隣で飛来が確認されています。</p>	<p><意見への回答> 河川環境については今ある自然環境を地域の財産のひとつとして、住民や行政と連携を図りながら保全に努めていく。また、河川工作物の改築等に当たっては魚類等の河川上下流への移動に配慮するよう実施者に指導を行っていく。</p> <p>(第4 河川整備の実施に関する事項,2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所,(2) 河川の維持の種類,オ 河川環境の整備と保全)</p>

分類	No.	提出方法	意見等	対応
			<p>わかば保育園児の散歩中に蝶が見られれば、良い自然観察となります。山崎橋～竹橋間は、少し厚めの植栽とし同時に「ヒヨドリバナ」も植栽し蝶の飛来を期待したいと思います。キアゲハ、クロアゲハ、などアゲハ類ルリシジミ、ツバメシジミなどシジミ類の蝶が、図書館 2 階より観察できます。</p> <p>河川の整備について山崎橋下流より竹橋にかけて生物の住みよい環境、淵、瀬、砂、石、生息場、繁殖場所確保する、同時に水生植物の保護も必要です。竹橋の下には、いつも水鳥がみられます。深めの淵があれば快適な環境が保てます。</p> <p>この地域には、小山城、図書館、図書館と一体となって、小さな理科館があります。理科館前に湯日川に続く広い広場がありますが、ほとんど活用されていません。昆虫や小魚、水生生物、水鳥などの自然観察しながら、秋の七草を探しながらのウォーキングも楽しみとなります。理科館で、湯日川四季の動植物、歴史、関係人物など、看板、解説など理科館と連携して見学者を誘い込みたい。</p> <p>また、小山城展望台、能満寺山公園、林泉寺の長藤など季節ごとの見どころたっぷりです。湯日川整備とともに魅力、楽しさを発信してください。</p>	<p>自然観察の場としては、過去実施したアンケートにおいても通勤や通学、散歩など日常的な利用状況における施設整備を望む声が多いことから、日常生活における河川と地域住民との接点が増え防災意識や河川愛護の精神が育まれ受け継がれていくよう、市町や流域住民と連携し、より良い河川空間の整備を目指す。(第 3 河川整備計画の目標に関する事項,7 河川と地域との関わりに関する目標)</p> <p>河川周辺の見どころについては、流域の概要の中で、展望台小山城や能満寺などについて触れている。(第 1 流域及び河川の概要,1 流域の概要,(4) 産業・観光)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
	10	書面	<p>健全な水環境の維持や美しい景観の形成の観点からいえば、昭和の時代は記載されているような水辺の景観があった。現在はもう見受けられないのが実感である。</p> <p>記述の通りのよき遠い時代、遠い過去の景観はどこを探しても見られない。</p> <p>現在の水辺の環境では、資料内容のようなイメージから遠くかけ離れたものになっている。</p> <p>山崎橋下流に設置されていた「ラバーダム」が最近見かけられなくなり、湯日川上流にも小魚等水生生物が見かけられるようになってきた。鴨やしらすぎ・カワセミ等の鳥類も見かけられるし、野蒜などの野生植物も見かけられる。土手の整備をして、わかば保育園の園児たちが自然の動植物を観察できるような環境を作ってほしい。</p>	<p><意見への回答> 河川環境については今ある自然環境を地域の財産のひとつとして、住民や行政と連携を図りながら保全に努めていく。また、河川工作物の改築等に当たっては魚類等の河川上下流への移動に配慮するよう実施者に指導を行っていく。(第 4 河川整備の実施に関する事項,2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所,(2) 河川の維持の種類,オ 河川環境の整備と保全)</p> <p>自然観察の場としては、過去実施したアンケートにおいても通勤や通学、散歩など日常的な利用状況における施設整備を望む声が多いことから、日常生活における河川と地域住民との接点が増え防災意識や河川愛護の精神が育まれ受け継がれていくよう、市町や流域住民と連携し、より良い河川空間の整備を目指す。(第 3 河川整備計画の目標に関する事項,7 河川と地域との関わりに関する目標)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
地域との関わり	11	書面	<p>湯日川周辺の住民は菜の花や水仙を植えるなどの行動もしています。源泉～河口迄、徒歩で何回も往復した(湯日川なんでも博士)もいます。お互いに協力しないながら、風とおしの良い話し合いを深めながら、より良い環境づくりをしたいものです。</p>	<p><意見への回答> 河川の上中下流の住民で関係者が連携する取り組みや流域住民の主体的な川づくり活動を支援していく。(第 4 河川整備の実施に関する事項,3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項,(3) 流域における取組への支援等)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>
総合的な河川整備	12	書面	<p>1 湯日川に流入する河川や水路等の整備について 湯日川に流入する神戸川の氾濫と流域一帯の冠水について。 神戸川は、湯日川に架かる山崎橋の上流 10メートルの位置から上流に向かって約 1 キロメートル長さを持っている。神戸川は、湯日川の本線に流入し、西に向かう神戸川の 3 か所では、大雨による洪水が発生し一帯が冠水する。住宅にも床下浸水の被害が発生し、生活に支障をきたす。大雨ごとに被災の対応にも困っている。</p> <p>一つに要因は、神戸川が湯日川と合流する地点での氾濫には構造的な問題があると考えている。湯日川の堤防の高さは神戸川の土手より 2 メートルくらいの高く、神戸川の土手は周囲の土地との高低差はあまりない。神戸川の幅員は約 2～3 メートル、水深は 2.0 メートルくらいしかない。</p> <p>したがって、湯日川が大雨で水量が増せば、必然的に神戸川へ逆流する。</p> <p>解決には神戸川の土手の高さを確保し、排水量を計算するなどして、排水断面を確保することであり、科学的に検証し、河川の整備を計画する必要がある。</p> <p>二つには、都市計画道路、県道住吉金谷線と周囲との高低差の問題がある。備前の守トンネルから北に向かう県道住吉金谷線がトンネルの完成と同時に開通したが、周囲の地盤より 0.6 メートルほど高く設定され、完成された。</p> <p>問題解決には、前記と同様神戸川に堤防を整備し、高さを県道住吉金谷線と同じ高さにしなければなら</p>	<p><意見への回答> 近年の水災害の激甚化・頻発化に対し、河川改修などのハード対策をより一層加速化するとともに、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、集水域から氾濫域にわたる流域全体に関わるあらゆる関係者が協働し、流域全体で行う「流域治水」への転換が求められている。</p> <p>湯日川流域においては、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、河川改修をより一層加速化するとともに、あらゆる関係者による「被害対象を減少させるための対策」や「被害の軽減・早期復旧・復興のための対策」を充実・強化し、社会全体で洪水に備える総合的かつ多層的な取組を推進する。(第 4 河川整備の実施に関する事項,3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項,(2) 流域との連携等)</p> <p><本文での対応> 本文記載済み(修正・追記なし)</p>

分類	No.	提出方法	意見等	対応
			<p>ないと考える。</p> <p>もう一つの課題は、神戸川と県道住吉金谷線の交点にある。県道住吉金谷線の下を神戸川が横断しているが、大雨の時の神戸川の排水処理する限界を超えていると推測する。排水ではなく橋での対が必要ではないかと考える。何故なら、県道住吉金谷線が改良される以前は、この地域が冠水したとの記憶がない。三つには、県道住吉金谷線の上流にできた農面道路にもおなじ問題が生じている。大雨の時の排水ができないと考える。</p> <p>神戸川の排水処理範囲は、道上橋近辺で湯日川に流入する出水川の南側から 湯日川の西側の広範囲な地域一帯であり、それを処理するのが神戸川 1 本しかないということも問題だと考える。見解をお願いします。</p> <p>しかも、この神戸川排水処理範囲では、東日本大震災以来宅地開発が目に見えて進み、農地の減少が雨水を一時的に保有する能力が減少し、大雨は神戸川に短時間で大量の流入する要因にもなっている。</p>	
	13	メール	<p>近年の地球温暖化による気候変動で線状降水帯等により全国的に大きな被害が出ている現状であります。</p> <p>近隣住民の私達にとっても神戸川は過去にも何度か洪水による被害があったと聞いています。例えばAさん宅は基礎部分を嵩上げ工事を施工、Bさん宅は床上浸水の為に居住出来ず立ち退きをせざるを得ない苦渋の決断をした等。他にも被害者の人達が多数いる。この地域の地盤構造は県道が高く一般道が低くなっている。下流になるほど川幅が狭く排水能力がなく冠水してしまう。</p> <p>最大の問題は 神戸川の流入する湯日川水門が災害時に機能しないため、ひとたび大雨の集中豪雨あれば！あつという！間に浸水被害が発生する場所なんです。</p> <p>この状況を一日早く町行政に届けて安心して生活出来るようにと地元の山内均町会議員にも現地視察していただき最近では2021年 7 月末に集中豪雨のよる自宅付近の写真を添付させて頂きました。</p> <p>これからは海水温は気温ほど容易に上昇しませんが増えた熱によって水蒸気の発生量が増え台風の大型化や豪雨に繋がっていることが既に検証されています。</p> <p>湯日川水系河川整備計画の関しての意見ではありませんが神戸川は湯日川に最終的に流入するところでもあります。</p>	<p><意見への回答></p> <p>近年の水災害の激甚化・頻発化に対し、河川改修などのハード対策をより一層加速化するとともに、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、集水域から氾濫域にわたる流域全体に関わるあらゆる関係者が協働し、流域全体で行う「流域治水」への転換が求められている。</p> <p>湯日川流域においては、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、河川改修をより一層加速化するとともに、あらゆる関係者による「被害対象を減少させるための対策」や「被害の軽減・早期復旧・復興のための対策」を充実・強化し、社会全体で洪水に備える総合的かつ多層的な取組を推進する。</p> <p>(第 4 河川整備の実施に関する事項,3 その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項,(2)流域との連携等)</p> <p><本文での対応></p> <p>本文記載済み(修正・追記なし)</p>
整備計画本文	14	メール	<p>誤り等が認められましたので、全体的に見直し、修正してください。</p> <p>統計データは可能な限り直近の数値を採用するのが適当です。</p>	<p><意見への回答></p> <p>可能な限り最新の統計データに更新すべきである。</p> <p><本文での対応></p> <p>可能な限り最新の統計データに更新し、誤字等を修正する。</p>